

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	事案からの帰署途上におけるタンク車（プロシフト車）の交通事故について
3. 体験した事例の中心的要素	道路狭隘地区で起きた支援救急事案にタンク車（プロシフト車）で出動した。活動を終え、タンク車で道路狭隘地区を通行中、T字路手前で一時停止した。右折しようとしたところ、一度で曲がり切れなかったため一時停止しダイヤル式のギアセクターをバックギアに切り替えて切り返そうとしたところ、バックギアに切り替わらず前進し前方のフェンスに接触し破損させてしまったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	・ギアセクターを回せばバックギアに必ず入ると思い込んでしまっていたこと。 ・安全装置（坂道発進補助装置）があったにも関わらず使用していなかったこと。 ・車輪止め等安全対策をしていなかったこと。 ・プロシフト車の特性を理解していなかったこと。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。（大丈夫だろうと思った。）
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和4年7月7日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：道路狭隘地区T字路
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急帰署途中
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：帰署途中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長] 同様の活動[頻繁]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	タンク車(プロシフト車)でT字路を右折した	
経過2	A	曲がり切れなかったため、一時停止した	
経過3	A	ギアセレクターをバックギアに入れブレーキから足を離しアクセルを踏んだ	
経過4	A	ギアはバックギアに入らずニュートラル状態で、車両が前進しフェンスと接触した	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

車両(プロシフト車)の特性を再確認し、同様の事故を起こさないよう他の職員へ情報提供した。事故がなぜ起きたか検証を行い、安全装置(坂道発進補助装置)を常時使用するよう徹底した。

○活動環境の対策について

道路狭隘地区の交差点等で切り返しを行う場合は、車輪止め等を使用して安全対策するよう徹底した。

○指揮・情報伝達の対策について

9. 事故発生状況図

